

第23期 東部海区海面漁業調整委員会 委員候補者の推薦・応募状況（募集期間：令和6年11月7日から令和6年12月6日まで） 最終報告
 募集人数15人に対して推薦19名、応募2名 合計21名 うち漁業者等18名（推薦18名、応募0名）

受付 番号	被推薦者及び応募者						推薦者等 ()：法人又は団体団体の場合		
	候補者氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業経営の状 況及び漁業者 又は漁業従事 者であるか否 かの別	氏名 (名称・目的)	職業・年齢 (代表者又は管理人 の氏名・構成員の 数・構成員たる資 格)	推薦・応募の理由
1	尾崎 幸弘	漁業	61	男	S59.4～ いか釣り漁業（家業）に従事 H15.1～ 八戸みなと漁業協同組合正組合員 H15.1～ 八戸みなと漁業協同組合監事 H15.1～ 八戸みなと漁業協同組合小型船部会 長 H24.6～ 八戸みなと漁業協同組合副組合長 R3.4～ 八戸みなと漁業協同組合代表理事組 合長 R3.4～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 R3.4～ 青森県漁業協同組合連合会監事	小型定置網漁 業、一本釣り 漁業、ほっき 桁びき網漁 業、しらうお 刺し網漁業、 年間従事250 日、漁業者	八戸みなと漁業協同組 合・組合員が協同して 経済活動を行い、漁業 の生産能率を上げ、も って組合員の経済的社 会的地位を高めること を目的とする	尾崎幸弘 正組合員38名・准 組合員8名・組合員 46名	平成15年1月の組合設立当時より小型船部会長とし て現場に精通し、八戸沖沿岸漁業振興協議会並びに 東共第50・51号共同漁業権行使対策協議会の会長と して沿岸漁業者からの人望も厚く、まき網・トロー ルとの漁業調整に尽力している。また、令和3年8 月に発生した外国籍貨物船座礁事故の対応におい て、関係する沿岸漁協の中心的な役割を担い、解決 に向け奔走している。
2	尾崎 勝一	漁業	74	男	H11.4～ 三沢市漁協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚 食普及会委員 H23.7～H30.3 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R元～ 三沢市漁業協同組合副組合長	ほっき桁びき 網漁業、一本 釣り漁業、は も胴漁業、た こ漁業、かご 漁業、年間従 事日数130 日、漁業者	三沢市漁業協同組合・ 組合員が協同して経済 活動を行い、漁業の生 産能率を上げ、もって 組合員の経済的社会的 地位を高めることを目 的とする	熊野稔 正組合員482名、准 組合員66名、総組 合員548名	平成15年以降21年にわたり、一本釣りをはじめと した漁業に従事する中、熱心に漁場環境の調査、研 究にも力を注いでいる。県漁連の魚食普及会委員を 務めたほか、会社での管理職としての経験も生か し、当組合では、監事、理事として、また現在では 副組合長として、組合が水揚げ減少で苦しむ中、組 合長とともに常勤のように日々事務所に出向き、長 期的な展望をもって運営にあたり、調整能力も大い に発揮している。
3	富田 由廣	漁業	76	男	S45.4～ 富田送電工事(株)専務取締役 S57.4～ 富由建設代表取締役 H元～ 三沢市漁業協同組合正組合員 H12.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H23.12～H28.8 青森県東部海区漁業調整委員 会委員	一本釣り漁 業、ほっき桁 びき網漁業、 かれい刺し網 漁業、かに刺 し網漁業、年 間従事日数120 日、漁業者	三沢市漁業協同組合・ 組合員が協同して経済 活動を行い、漁業の生 産能率を上げ、もって 組合員の経済的社会的 地位を高めることを目 的とする	熊野稔 正組合員482名、准 組合員66名、総組 合員548名	当組合員として29年間にわたり、三沢市沿岸で一本 釣りをはじめとした漁業を行い、その間当組合理事 として、延べ23年間、その経営に携わっている。ま た、平成12年から現在まで東部海区の沿岸漁業調整 委員会委員を務め、4年余りも会長を務めていた。そ の調整能力及び見識は非常に優れている。

4	坂岡 正彦	漁業	65	男	S60.3～ 漁業従事 H5.4～ 三沢市漁業協同組合正組合員 H11.4～ 八戸立縄協議会会長 H15.4～ 指導漁業士 H24.4～ 青森県青年連絡協議会副会長 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R2.7～ 八戸沖沿岸漁業振興協議会副会長 R3.4～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 R3.5～ 青森県漁業士会副会長	ほっき桁びき 網漁業、いか 釣り漁業、た こ漁業、年間 従事日数 150 日、漁業者	三沢市漁業協同組合・ 組合員が協同して経済 活動を行い、漁業の生 産能率を上げ、もって 組合員の経済的社会的 地位を高めることを目 的とする	熊野稔 正組合員 482 名、准 組合員 66 名、総組 合員 548 名	当組合の正組合員として 31 年間、いか釣り漁業など を営み、その間当組合の理事及び小型船部会会長を 務めるなど人望も厚く。識見も有している。また、 当地区以外でも、東部海区の沿岸漁業調整委員、八 戸沖沿岸漁業振興協議会副会長、八戸立縄協議会会 長、三八漁業士会会長、青森県青年連絡協議会副会 長などの要職も務め、周りの信頼も厚い。
5	佐京 忠史	漁業	75	男	S60.5～ 階上漁業協同組合正組合員 H24.3～H30.3 階上漁業協同組合副組合長 H25.5～ 八戸水産高校後援会理事 H28.8～R3.3 青森県東部海区漁業調整委員会 委員 H30.4～ 階上観光協会会長 H30.4～ 階上町商工会会長 R3.8～ 階上漁業協同組合副組合長 R3.4～ 八戸沖沿岸漁業振興協議会理事	採介藻漁業、 年間従事日数 90 日、漁業者	階上漁業協同組合・組 合員が協同して経済活 動を行い、漁業の生産 能率を上げ、もって組 合員の経済的社会的地 位を高めることを目的 とする	畑中清二 正組合員 370 名、准 組合員 3 名、総組合 員 373 名	長年にわたり、採介藻漁業に従事しており、現場に 精通している。東部海区海面漁業調整委員会の委員 の経験者、当漁業協同組合の副組合長理事であり、 また、八戸水産高校等の繋がりから同海区全体の漁 業関係者と幅広い人脈があり、多種多様な漁業が輻 輳する同海区の課題等に対し、これまでもそうであ ったように共存を前提とした優れた調整能力を発揮 することが出来る。
6	中居 裕	大学 講師	76	男	S46.4～ (財)政治経済研究所研究員 S58.8～ 北海道大学水産学部助手 S62.10～ 農林水産省水産大学校講師・助教 授 H4.4～ 下関市立大学教授 H9.1～ 東京水産大学・東京海洋大学教授 H24.4～ 八戸学院大学教授 H24.4～ 東京海洋大学名誉教授 H26.7～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H30.4～ 八戸学院大学講師	一. 一. 非漁 業者・非漁業 従事者	—	—	水産経済に関わる研究調査に長年携わってきたが、 そこから得られた知見や知識を地域の漁業に何らか の形に還元すべきと考えている。当該海区の漁業は 厳しい経済環境のもとで不透明感を強めており、そ のなかでこれまでの経験を何らかのかたちで貢献で きると考える。
7	竹林 雅史	漁業	61	男	H元.3～ 青森県青年漁業士 H6.5～ 猿ヶ森漁業協同組合理事 H14.7～ 猿ヶ森漁業協同組合代表理事組合長 H18.7～H29.4 青森県漁船保険組合監事 H24.7～ 青森県漁船保険組合代表監事 H24.9～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H28.5～ (一社)東通村産業振興公社理事 H29.7～ 太平洋広域漁業調整委員会委員 R6.6～ 下北水産振興会副会長	小型定置網漁 業、底建網漁 業、年間従事 日数 190 日、 漁業者	猿ヶ森漁業協同組合・ 水産業協同組合法に基 づき、組合員が協同し て経済活動を行い、漁 業の生産能率を上げ、 もって組合員の製材的 社会的地位を高めるこ とを目的とする	竹林雅史 正組合員 40 名、准 組合員 0 名、総組合 員 40 名	36 年間、定置網、底建網漁業に従事し、現場に精通 している。水揚げした魚の活〆等を行い、ブランド 化やクロマグロ混獲を回避、資源管理の実施などの 積極的な取り組みによる単価向上を目指している。 平成 24 年から青森県東部海区漁業調整委員会の委員 の経験者である。

8	南谷 雅人	漁業	66	男	H2.3～ 青森県青年漁業士 H16.1～ 青森県指導漁業士 H15.3～ 尻屋漁業協同組合理事 H21.3～ 尻屋漁業協同組合副組合長 H27.3～ 尻屋漁業協同組合代表理事組合長 H27.6～ 青森県東部海域漁業協議会会長 H27.6～ 青森県小型いか釣り漁業協議会監事 H27.5～ 下北水産振興会副会長 H29.6～ 青森県漁業協同組合連合会副会長 R6.5～ 下北水産振興会	一本釣り漁業、採介藻漁業、年間従事日数250日、漁業者	尻屋漁業協同組合・組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	南谷雅人 正組合員61名、准組合員1名、総組合員62名	48年間、一本釣り、採介藻漁業に従事しており一本釣り技術に熱心に取り組んでいる。下北水産振興会及び東部海域漁業協議会会長であり、調整能力に優れている。東部海区漁業調整委員会の委員の経験者でもある。
9	東田 義廣	漁業	90	男	S32.1～ 白糠漁業協同組合正組合員 S42.8～ さけ小型定置網漁業経営 S60.2～ 白糠漁業協同組合理事 S63.8～ 青森県海区漁業調整委員会委員 H10.4～H12.3 太平洋北部ブロック漁業者会	さけ小型定置網漁業、いか釣り漁業、刺し網漁業、年間従事日数200日、漁業者	白糠漁業協同組合・組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	山田晃 正組合員370名、准組合員186名、総組合員556名	50年以上さけ小型定置網漁業に従事して現場に精通している。さけ小型定置網漁業、いか一本釣り漁業を主に行い、漁業研究に熱心に取り組み安定している。当組合の理事を長年勤めており、調整能力に優れている。東部海区漁業調整委員会委員の経験者である。
10	関野 稔	漁業	48	男	H12.6～ 八戸鮫浦漁業協同組合正組合員 H31.3～ 八戸鮫浦漁業協同組合代表理事組合長	小型定置漁業、採介藻漁業、年間従事日数200日、漁業者	八戸鮫浦漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき、漁業の利用調整、組合員の漁獲物等の加工、販売、営漁指導等の事業を行うための団体	関野稔 正組合員48名、准組合員35名、総組合員83名	これまで24年間、沿岸漁業、採介藻漁業、近年では小型定置網漁業に従事し、幅広く現場に精通している。20年以上、漁業士会の会員であり、青森県の漁業について就業者の維持確保や適切な資源管理の重要性など多方面から問題を把握しており、これからの漁業の発展に貢献したいと考える。
11	石井 清一	漁業	61	男	H19.3～ 八戸市南浜漁業協同組合定置漁業部会長 H20.4～ 八戸市南浜漁業協同組合監事 H26.4～R6.3 八戸市南浜漁業協同組合理事	定置漁業、採介藻漁業、年間従事日数180日、漁業者	中村義一 風張兼一 磯島文男 深川修一 関野稔 石井直子 中村和子 松村仁 石井隆晟 石井駿吾	漁業者、71歳 漁業者、73歳 漁業者、69歳 漁業者、68歳 漁業者、68歳 漁業従事者、68歳 漁業従事者、70歳 漁業者、42歳 漁業者、29歳 漁業者、30歳	義務教育課程を卒業直後から定置漁業を経営するまでの間は遠洋漁業に従事し、ロシア水域等において厳しい漁業環境を経験されてきた経験を有する。その後、家業である定置漁業に従事する傍ら、地域において磯根資源の増養殖の取り組みや、サケ稚魚の海中飼育や、放流に積極的に参画する等、多様な漁業に精通している。組合の役員就任当時には、大震災に見舞われながらも漁業経営を存続させ、水産八戸の活性化の一時を担った役割は大きい。昨今では、組合下部組織である定置漁業部会の部会長として組合経営に参画し、漁場・漁業資源の利用に係る意見集約や、調整に尽力していることから係る能力を有し、資質もある。

1 2	田高 利美	漁業	62	男	H5. 11～ 田高漁業部 H13. 10～H17. 2 大畑町議会議員 H17. 11～H19. 10 むつ市議会議員 H14. 3～ 大畑町漁業協同組合理事 H16. 3～ 大畑町漁業協同組合代表理事組合長 H16. 8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H16. 8～ 下北水産振興会監事	いか釣り漁業、年間従事日数 270 日、漁業者	大畑町漁業協同組合・組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって、組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	田高利美、正組合員 115 名、准組合員 230 名、総組合員 345 名	20 年以上、中型いか釣り漁業経営し、沖合と沿岸漁業療法の立場で考えることができる。東部海区漁業調整委員会の委員の経験者である。
1 3	上野 徳光	漁業	73	男	S47～H8 定置漁業に従事 S54. 7～ 泊漁業協同組合正組合員 H6. 6～H8. 6 泊漁業協同組合監事 H8. 6～ 泊漁業協同組合理事 H8. 8～R3. 3 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H28. 8～R3. 3 青森県東部海区漁業調整委員会会長代理 R5. 6～ 泊漁業協同組合代表理事組合長 R5. 6～ 六ヶ所村まちづくり協議会委員 R5. 6～ 六ヶ所村原子力安全管理委員会委員 R5. 6～ 六ヶ所村観光協会理事 R6. 4～ むつ小川原港振興協会参与 R6. 6～ むつ小川原漁業操業安全協会常務理事	一本釣り漁業、年間従事日数 200 日、漁業者	泊漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	上野徳光 正組合員 622 名、准組合員 111 名、総組合員 733 名	25 年間定置網漁業、その後 28 年間一本取り漁業に従事しており、現場に精通している。本組合の役員を 30 年間務めており、令和 6 年 6 月より泊漁業協同組合長を務め、漁業者と中立的で積極的に対話することにより問題解決を図る等調整能力に優れている、平成 8 年 8 月から令和 3 年 3 月まで東部海区漁業調整委員であり、平成 28 年 8 月から会長代理の職務を務めていた。
1 4	松本 光明	漁業	76	男	H11～R2 六ヶ所村村議会議員 H19. 5～H23. 4 六ヶ所村村議会農林水産常任委委員会副委員長 R 元. 5～ 六ヶ所村村議会建設常任委員長 S55～ 泊漁業協同組合正組合員 S59～S61. 12 泊漁業無線通信士会会長 S61. 12～S63. 12 泊先導会会長 H5. 4～H7. 1 泊小型いか釣り漁業協議会副会長 H8. 8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H16. 8～H20. 9 青森県東部海区漁業調整委員会会長代理 H21. 10～28. 9 太平洋広域漁業調整委員会委員 H28. 8～ 青森県東部海区漁業調整委員会会長 R2. 6～ 泊漁業協同組合理事	小型いか釣り漁業、こうなご漁業、一本釣り漁業、年間従事日数 200 日、漁業者	泊漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	上野徳光 正組合員 622 名、准組合員 111 名、総組合員 733 名	中学校卒業後現在まで 61 年間いか釣り漁業に従事し、青森県東部及び西部海区において操業しており現場に精通している。村議会議員を 25 年務め泊漁協下部組織会長等も歴任し、当組合理事者として漁業者からの信頼も厚く調整能力に優れている。現在、東部海区漁業調整委員会会長である。

15	三國 與一郎	漁業	76	男	S38～ いか一本釣り漁業に従事 S54.10～ 泊漁業協同組合正組合員 H13.4～H23.3 泊小女子部会長 H23.6～H26.6 泊漁業協同組合理事 R5.6～ 泊漁業協同組合理事	いか釣り漁業、小女子漁業、一本釣り漁業、年間従事日数250日、漁業者	泊漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	上野徳光 正組合員622名、准組合員111名、総組合員733名	中学校卒業後現在まで61年間いか釣り漁業に従事し、青森県東部及び西部海区において操業しており現場に精通している。過去には泊漁協下部組織会長を歴任し、現在は泊漁協理事を務めており、漁業者からの信頼も厚く中立的な立場で積極的に対話することにより問題解決を図る等調整能力に優れている。
16	堤 静子	大学教員	60	女	S62.4～H5.3 八戸大学勤務 H9.4～H11.3 青森公立大学大学院修士課程 H12.8～ (有)オフィスエスティ役員 H21.4～H26.6 青森公立大学大学院博士課程 H26.4～H31.3 八戸短期大学准教授 H31.4～ 八戸学院大学准教授、教授、特任教授 R3.4～ 青森県水産振興協議会委員 H3.4～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H6.6～ (公財)21 あおもり産業総合支援センター理事長	一. 一. 非漁業者・非漁業従事者	—	—	これまで、大学教員として、階上町のアブラメブランド化事業に関わったり、八戸水産高校の国際航海実習の応援プロジェクトを立ち上げ、将来の漁業の担い手を応援する活動を続けています。また、青森県水産振興審議会の委員を務めるなどして、県の水産振興に関わらせていただいております。青森県の基幹産業である水産業、漁業の持続的な発展、漁業生産力、収益性向上等を強く願っています。令和3年より東部海区漁業調整委員会委員を務めていて、引き続き、地元漁業者が抱えている様々な課題について考えていきたいと考えています。
17	尾崎 勝一	漁業	74	男	H11.4～ 三沢市漁業協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚食普及会委員 H23.7～H30.3 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R元～ 三沢市漁業協同組合副組合長 R3.6～ 北浜海域ほっき貝資源対策協議会委員 R3.6～ 東共50・51調整協議会委員 R5.10～ 三沢市漁業協同組合畜養施設検討委員会委員	ほっき桁びき網漁業、一本釣り漁業、はも胴漁業、たご漁業、かご漁業、年間従事日数130日、漁業者	北栄漁業生産組合・組合員の漁業生産を協同化することにより、その漁業生産性を向上させ、もって組合員の所得の増大を図る	一戸辰夫 組合員8名	当組合の定置漁業の運営にあたっては、三沢市漁業協同組合及び漁業者との連携が不可欠であり、その連携にあたって、尾崎氏は常に長期的展望に立ち、その調整に努めるなど、当組合の円滑な運営に貢献していただいている。また、魚価向上のための畜養施設検討についても、現在積極的に取り組んでいただいている。
18	尾崎 勝一	漁業	74	男	H11.4～ 三沢市漁業協同組合正組合員 H15.5～H21.4 青森県漁業協同組合連合会魚食普及会委員 H23.7～H30.3 三沢市漁業協同組合監事 H30.6～ 三沢市漁業協同組合理事 R元～ 三沢市漁業協同組合副組合長 R3.6～ 北浜海域ほっき貝資源対策協議会委員 R3.6～ 東共50・51調整協議会委員 R5.10～ 三沢市漁業協同組合畜養施設検討委員会委員	ほっき桁びき網漁業、一本釣り漁業、はも胴漁業、たご漁業、かご漁業、年間従事日数130日、漁業者	協栄漁業生産組合・組合員の漁業生産を協同化することにより、その漁業生産性を向上させ、もって組合員の所得の増大を図る	馬場騎一 組合員10名	当組合の定置漁業の運営にあたっては、三沢市漁業協同組合及び漁業者との連携が不可欠であり、その連携にあたって、尾崎氏は常に長期的展望に立ち、その調整に努めるなど、当組合の円滑な運営に貢献していただいている。また、魚価向上のための畜養施設検討についても、現在積極的に取り組んでいただいている。

19	二本柳 勝	漁業	71	男	S55.2～ 小田野沢漁業協同組合正組合員 S56.4～ 川口水産入社 H2～ 青森県漁業士会青年漁業士・指導漁業士 H8.2～ 小田野沢漁業協同組合理事 H12.8～ 青森県東部海区漁業調整委員会委員 H17.1～H19.1 小田野沢漁業協同組合研究会長 H17.3～ 小田野沢漁業協同組合副組合長 H17.4～ 北栄水産経営 H20.3～H23.3 小田野沢漁業協同組合代表理事組合長	小型定置漁業、年間従事日数180日、漁業者	小田野沢漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき、水産の事業を行うための団体	川村敏博 正組合員193名、准組合員25名、総組合員217名	小型定置漁業に45年間、現在は経営者として従事している。資源管理に取り組むほか、サケ海産親魚を提供してふ化放流事業に協力するなど、現場に精通している。青森県漁業士会の指導漁業士として、後進の育成指導をしている。小田野沢漁業協同組合の理事として28年余り、また代表理事組合長の経験者でもあり、エネルギーと漁業の共存を前提に、東通原子力発電所立地に協力しながら、地元の漁業振興のために尽力している。青森県東部海区漁業調整委員会の委員として20年余りの長きにわたり、東部海区管内における沿岸資源の漁業調整や資源管理と増殖特に、種卵確保のための海産サケ親魚の提供やサクラマス幼魚の放流等、サケ、マス増殖事業に貢献している。
20	赤松 靖	行政書士	36	男	H24.4～H27.4 (株)川内産業勤務 H27.5～R2.1 (有)ファミリーマートさとう勤務 R2.4～ 赤松行政書士事務所創業 R5.1～ (一社)むつ青年会議所理事 R5.5～ 青森県行政書士会理事 R6.1～ 人権擁護委員	一、一、非漁業者・非漁業従事者	青森県行政書士会・行政書士法に基づき、会員の品位を保持し、その業務の改善進歩を図るため、会員の指導及び連絡に関する事務を行うための法人	野崎径裕 会員363名	適切な資源管理と水産業の成長産業化に貢献するため、漁業権や県漁業調整規則・漁獲制限・許可漁業等青森県海区漁業調整委員会の書証の属する事項に関し利害関係を有しない中立委員として、青森県海面漁業の沿岸市町村を中心に行政書士として活動している若手理事を推薦します。
21	木村 正則	漁業	55	男	S61.4～ 下風呂漁業協同組合正組合員 H30.3～R2.11 下風呂漁業協同組合理事 R3.4～ 風間浦漁業協同組合代表理事組合長 R3.6～ 日本漁船保険組合青森支所運営委員	いか釣り漁業、刺し網漁業、たこ漁業、年間従事日数150日、漁業者	風間浦漁業協同組合・産業協同組合法に基づき漁獲物の委託販売を行うための団体	木村正則 正組合員138名、准組合員121名、総組合員259名	30年間、いか釣り漁業及び刺し網漁業に従事し、現場に精通している。令和2年12月に、下風呂、易国間、蛇浦の3漁協が合併し発足した風間浦漁業協同組合を当初から牽引し、経営、運営の取りまとめに対し積極的に取り組んでおり、調整能力に優れている。
22	工藤 徳康	漁業	80	男	H14.3～ 百石町漁業協同組合理事 H16.4～R5.3 百石町漁業協同組合小型船部会長 R5.3～ 百石町漁業協同組合代表理事組合長 R5.4～ 北浜ほっき貝資源対策協議会会長 R5.8～ 青森県さけます増殖流通振興協会理事	小型定置漁業、ほっきがい雑けた網漁業、年間従事日数150日、漁業者	百石町漁業協同組合・水産業協同組合法に基づき事業を行うための団体	工藤徳康 正組合員数174名、准組合員1名、祖組合員175名	本組合の代表理事組合長である工藤氏は、地域の主力漁業である小型定置漁業、ほっきがい桁びき網漁業に長年従事してきました。ほっきがい漁業の所得向上や経費削減のため、協業化を推進したときにも率先して取り組み実現した。定置漁業に従事していることから、ふ化放流への関心も深く、海産親魚を無償提供してきた経緯もあり、ふ化放流事業に対して協力的である。

23	宮野 昭一	漁業	73	男	H22～ 奥戸漁業協同組合代表理事組合長 H26～ 下北水産振興会副会長 H27～ 青森県漁場監視団連合会理事 H29～R2 大間町議会議員副議長 H27～R2 青森県信用漁業協同組合連合会役員 R2～ 大間町議会議員 R3～ 東日本信漁連青森支店運営会委員 R5～ 大間町議会議員監査役	採介藻漁業、 年間従事日数 120日、漁業者	奥戸漁業協同組合・組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする	宮野昭一 正組合員 99名、准組合員 227名、総組合員 326名	平成22年に奥戸漁業協同組合代表理事組合長に就任して以来14年間、一次産業、特に漁業の衰退を目の当たりにしている現状の中、大間町議員の立場も生かし町や近隣漁協との隔たりをなくし、協力体制の強化にも努めてきた。近年においては、青森県東部海区漁業調整委員会の一員としてマグロ漁獲問題に尽力し、県全体の信用回復を図るべく、いち早くQRコードを導入するなどの、その積極的な行動力に大きく期待すべく推薦するものである。
----	-------	----	----	---	---	------------------------------	--	--------------------------------------	--